

漂泊の狸

東京大学大学院東アジア思想文化専攻
頼思好

渥美財団の皆様にご感謝を伝えられることをとても幸せに思います。たくさんの方々のご支援のおかげで、私は新型コロナにも負けず、今年無事に卒業致しました！1年あまりの間、数え切れないほどの様々な想定外の事件が起りましたが、何とか無事に卒業にたどり着くことができました。

初めて渥美財団の狸のシンボルを見た時、私は子供の頃に見たジブリ映画「平成狸合戦ぽんぽこ」をふと思い出しました。この映画は、純粹さや素朴さがある一方で不思議な現実味も帯びた作品で、物語の終盤では狸たちの一部が人間に化けて人として都会で生きて行こうと努力する様子が描かれます。留学生として日本に来た当時、私はちょうどフランスとアメリカへの訪問を終えたところでした。それぞれの国で非母語的な環境に身を置くと、だんだんと生活には慣れてはくるものの、なぜか時折そのままではいられないような気分になりがちです。映画はそんな自分に、「化ける」能力がある狸ですら異文化社会で苦労したのだから、普通の人間である私が短時間で次々と新しい環境に適応するには、頑張る以外に何も無いのだという決意を思い出させてくれました。

台湾から日本に来た頃、私の台北の友人は「東京に行けるとは羨ましいよ。東京の人たちは謙虚で礼儀正しいからね。」と言いました。それからパリに行く機会があった時、東京の友人は「パリに行けるとはいいね。ロマンチックで詩的なところだから。」と言いました。そして、アメリカでは、知り合いの全員が「ボストンに行けるなんていいね。あそこの学生は明るくて自信がある上に、やる気がある。」と言いました。皆、私が旅先で出会う新しい知り合いが本当にニュースやネット上で伝えられている通りなのか、興味津々なのです。もちろん彼らは単純に SNS などで目にした記事を元に気楽に私に尋ねただけだったのかもしれませんが。

しかし、実際に私の日常生活で起こるのは報道やインターネットから伝わる様子とはまるで別のことばかりです。友達との実際の会話は、政治などの大事件よりも身近な出来事、自分達の街での出来事、お互いの研究の内容が多く、ゆえに SNS のみを通じて外の世界を知ろうとしたり、知った気分になってしまう現在の傾向に私はしばしば違和感を覚えました。インターネット上に現れる東京は私が知っている東京ではなく、インターネット上のパリやボストンもまた然り。とある地域について、とあるトピックだけに焦点をあてて議論しては、その土地に存在している他の多くの人々が抱える思いや考えをたやすく見逃してしまうのだと、最近特に強く感じます。

私たちは、一人一人がそれぞれの独特な経験によって自我を形成し、その結果、多様な個人として生きています。人それぞれの経験の違いは、国や言語の違いよりも重要だと私は思っており、SNS から吸収した偏見を持っては、外の世界で真の友情を育むことができないのです。何年にもわたる異国での旅と留学を、私はいくつもの「国」を見て来たというよりは、いくつもの国の「友」と心を通じ合わせてきたと表現したくなります。なぜなら、政策や経済の発展状況よりも、そこで暮らしている人々の思いやりと温もりこそが、最も深く私の記憶に刻まれていて、その数々が今の私を作り上げているからです。

たくさんの方々の土地を踏み、多様な文化を学び続けながら私が本当の私でいられたのは、多くの方々に助けられ、恵まれていたからでした。

このような心境を経験したので、渥美財団の狸のシンボルを見ると今は心に特別な親近感が湧い

てきます。渥美財団が見守ってくださったおかげで、私は無事にこの一年間を自らの心を見つめながら、穏やかに過ごすことが出来ました。またこうした日々の中で、これまでに心に積もった数年分の研究上の知識や人生における知恵を整理することが出来ました。日本での留学を終えた今、いくつもの縁に導かれて東京に来たこと、私が最も落ち込んでいる時、私を信じてくれた人達、出会った全ての人に感謝しています。人生の全ての体験が、良くも悪くも私という小さな苗を成長させてくれました。与えられた栄養を頑張って吸収し、辛い経験は逆「増上縁」と化して、心を強く鍛えてくれました。

長かったり短かったりする別れを次々に経験していくのは留学生の常だと思う私は、昔はよく切ない気持ちでいました。しかし今は、別れというものはその度に誰かが一歩前に進んだことを意味するのだから、切ないと思うよりも喜んで祝福すべきだと思っています。現代社会において、頑張って生きている人（狸）達は、実は皆、自分の孤独な惑星を歩いているようなものです。没頭してひたすら歩いていると、ふとした瞬間に遠くにいる誰かが自分のことを思い出してくれていることに気がつくのです。その時、心に流れ込んでくる暖かさこそが、最も安堵に満ちた寂しさだと私は思います。